

## 1 回答数

依頼数	8
回答数	8

## 2 業務負担について

## ①申請内容に関する提案者との協議・調整

負担度合		理由
負担が重い	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みたい内容ではなかなか参加者が集まらず、参加者を多く募ろうとすると内容がぶれることになり、何度も話し合いや調整をしたため。</li> <li>・通常業務（ケースワーク等）が繁忙のなか、提案者との会議や日程調整に苦労した。</li> <li>・申請団体と何度も打合せを行ってきた。（基本的に平日夜間）</li> </ul>
負担ではない	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から、野良猫対策などで情報を共有しながら仕事をしているので、協議・調整は比較的しやすかった。</li> <li>・フォーマットがある程度あるので、それに沿って行えたから。</li> </ul>
どちらでもない	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もともと当館を拠点とする団体なので順調ではあったが負担でないということはない。</li> <li>・はじめに協働事業の要件に合致しているかどうか重要であるため、協議調整に入る前のチェック（確認）が必要。</li> </ul>

## ②プレゼンテーションの実施

負担度合		理由
負担が重い	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容について団体と何度も話し合い、プレゼンテーション用の準備をして、採択されれば事業計画書や予算書の作成等、実施までにやることが多い。採択か否かの判定を負担のない方法でできるとよい。</li> <li>・不得意な場合、通常業務を進めながらの発表の準備は負担である。</li> <li>・資料の作成を団体と協議しながら行うのが大変だった。</li> </ul>
負担ではない	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施団体の方が、プレゼンに慣れておらず、資料作り等が負担となっていた。</li> <li>・実施に当たっては、担当課は直接的に関わらなかった。</li> <li>・実施主体である団体が中心に行うため、資料調整はあるものの負担に感じることはない。</li> </ul>
どちらでもない	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もともと当館を拠点とする団体なので順調ではあったが負担でないということはない。</li> </ul>

### ③実施事業の実施団体との協議・調整

負担度合		理由
負担が重い	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常業務（ケースワーク等）繁忙のなか、協働相手との会議や日程調整に苦勞した。</li> <li>・申請団体と何度も打合せを行ってきた。（基本的に平日夜間）</li> </ul>
負担ではない	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容について何度も連絡を取り、相談しながら実施した。担当課では分からないことが多く、協働推進課に相談できてよかった。</li> <li>・日頃から、野良猫対策などで情報を共有しながら仕事をしているので、協議・調整は比較的しやすかった。</li> <li>・実施団体の方である程度方針が立っていたためスムーズに行えた。</li> </ul>
どちらでもない	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もともと当館を拠点とする団体なので順調ではあったが負担でないということはない。</li> <li>・当初の計画通りに進捗しているかどうかの情報共有が必要。予定外の対応により想定外の対応が発生する。</li> </ul>

### ④事業報告会の実施

※1課は未実施のため、回答なし

負担度合		理由
負担が重い	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業終了後、時間が数か月も経過しての報告会は、思い出すことに苦勞した。</li> <li>・報告書の量が多く、通常業務が繁忙のなか、残業して作成し大変苦勞した。</li> <li>・夜間であったことや、質疑応答が大変だった。</li> </ul>
負担ではない	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施団体の方が、報告会に慣れておらず、報告会用の資料等の作成が負担となっていた。</li> <li>・実施に当たっては、担当課は直接的に関わらなかった。</li> </ul>
どちらでもない	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もともと力があり、活発に活動している団体との事業であったため、報告会自体の負担はそれほどなかった。ただ、団体のお子さんがみんな小さかったので、平日夜間に出席してもらうのは大変だと感じた。</li> <li>・もともと当館を拠点とする団体なので順調ではあったが負担でないということはない。</li> </ul>

### ⑤その他

内容	事業実施の周知	
負担度合	負担が重い	<p>&lt;理由&gt;</p> <p>チラシ配布、ホームページ・ツイッター掲載、市掲示板など、人手不足のなか、どの事業も様々な手法を使って周知をしたが、参加者が多いものと少ないものとの差が生じてしまった。</p>

### 3 制度の課題点について

#### ①提案された事業に対する担当部署の関わり方が、よくわからない

回答 2件

具体的な内容	考えられる改善方法
<ul style="list-style-type: none"><li>・すでにコンサート等を自力で開催する力のある団体であったこと、さらにテーマも講師もしっかり決まっていたため、担当の役割がよく分からなかった。</li></ul>	⇒市民提案型は大切に考えたいが、力のある団体には、協働というやり方でなくてもいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"><li>・純然に市民団体から提案いただいたのではなく、行政から市民団体に申請をお願いしている提案が多くあると推測される。その際は、行政の関りが大きくなり、負担も増えることになる。</li></ul>	⇒市民団体から純然な申請がない場合は、当該年度の実施を見送るか、制度そのものの在り方を検討する必要があると考える。

#### ②補助金額が少ない（上限20万円）

回答 0件

#### ③提案申請～事業実施、報告までのスケジュールが長い、時期が合わない

回答 3件

具体的な内容	考えられる改善方法
<ul style="list-style-type: none"><li>・申請の翌年度に事業実施、その翌年度に報告と、3年にわたるため長く感じ、記憶に残っていないこともある。</li></ul>	⇒予算や人員体制等から期間を短くするのは難しいと思うが、具体的に改善策は思いつかない。
<ul style="list-style-type: none"><li>・H30 年度開催のラグビー（田んぼラグビー）の場合は、開催時期が年度前半（6月初旬）のため、補助金交付が開催間際になってしまった。</li></ul>	⇒会計年度の制度上、止むを得ない。
<ul style="list-style-type: none"><li>・事業報告会実施の必要性について検討。<ul style="list-style-type: none"><li>・実施することのメリットは何か。</li></ul></li></ul>	⇒報告会の廃止 <ul style="list-style-type: none"><li>・廃止によるデメリットがあるか</li><li>・公開だと思うが、一般市民は見に来るのか</li></ul>

#### ④制度下での事業終了後、事業の継続の仕組みがない、不明である

回答 3件

具体的な内容	考えられる改善方法
<ul style="list-style-type: none"><li>・事業にもよると思うが、野良猫対策は、継続して実施することで、より効果が表れると思うので、複数年実施することが望ましい。</li></ul>	⇒少なくとも2～3年継続し、実施できるようにすることなど。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・単年限りのため、次年度以降の継続性が難しい。</li> </ul>	<p>⇒継続の場合も、予算の範囲内において募集する。</p> <p>但し2回目は上限10万円、3回目は5万円など段階的に、金額を減らすとともに、回数も上限を決め、将来的に自主財源で継続できるようにする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべきかどうか（提案してきたのが団体であるのに）担当課の判断に委ねられる。</li> </ul> <p>継続するにしても、その際の予算措置も難しい場合が考えられる。（初年度が20万円の補助金を渡しているだけに）</p>	

### ⑤その他

回答	3件
----	----

項目	具体的な内容	考えられる改善方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容に付随した支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施内容によっては、事業に付随したハード面での支援等が必要になるが、行政として対応できるのか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常業務が繁忙で残業が多いなか、複数の資料を作成することは、心身に負担が生じる。</li> </ul>	<p>⇒提出資料を削減し、不明点は質疑対応。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の進捗管理をどこまですればよいかわからない（事業の進捗状況、収支など）</li> </ul>	<p>⇒情報共有・進捗管理の明確化（共有により確かな事業運営につながる）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果を図る手段</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施の効果を図る手段の明確化（アンケート等実施の明記）。</li> </ul>	<p>⇒事業の実施者、事業の参加者双方の視点でのアンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぞう列車で言えば、合唱団員とコンサート来場者など。</li> </ul>

## 4 制度の周知方法や全般について

意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業提案する人が実施するやり方ももちろんよいが、提案する人と、その提案を受けて実施する人（団体）が違うやり方を取り入れたらどうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物が相手の為にリスクが高く、環境影響により事業の良し悪しに差が生じた。</li> </ul>